

## ➤ 10日 水曜

### ヨシュア

16:1 ヨセフ族にくじで当たった地の境界線は、エリコのあたりのヨルダン川からエリコの泉の東側へ、そして荒野の方へ向かい、エリコから上って山地のベテルに至り、  
16:2 ベテルからルズに出てアルキ人の領土アタロテを過ぎ、  
16:3 西の方、ヤフレテ人の領土に下り、下ベテ・ホロンの地境、さらにゲゼルに至る。その終わりは海である。  
16:4 ヨセフ族、マナセとエフライムは自分たちの相続地を受け継いだ。  
16:5 エフライム族の諸氏族の地域は、次のとおりである。彼らの相続地の領域は東の方、アテロテ・アダルから上ベテ・ホロンに至る。  
16:6 そして境界線は西に向かい、さらに北方のミクメタテに出る。そこから境界線は東に回ってタアナテ・シロに至り、そこを過ぎてヤノアハの東に進み、  
16:7 ヤノアハからアタロテとナアラに下り、エリコに達し、ヨルダン川に出る。  
16:8 また境界線はタプアハから西へ、カナ川に向かう。その終わりは海である。これがエフライム部族の諸氏族の相続地である。  
16:9 そして、マナセ族の相続地の中に、エフライム族のために取り分けられた町々、そのすべての町とそれらの村々がある。  
16:10 ただし、彼らは、ゲゼルに住むカナン人を追い払わなかった。カナン人はエフライムのただ中に住んだ。今日もそうである。カナン人は強制労働に服すことになった。

ヨセフはヤコブの11番目の息子でしたが、約束の子すなわちラケルの子としては長子でした。またかつては兄たちから殺されそうになったり、奴隷に



売られたりと大きな苦勞をしましたが、エジプトで大臣となり、最後は兄たちを救し主の御計画との信仰を持ちました。それゆえ神様はヨセフの子孫に長子としての権利を与え、2倍のものを与えたのです。すなわちその相続を、ヨセフから出たエフライム族とマナセ族にそれぞれ与えたのでした。

兄弟姉妹の中で損もあれば得もあるでしょうし、その人の生き立ちや人生に苦難も喜びもあるでしょうが、主は必ず私たちが納得するような結果を与えてくださる方です。今の状況を、後の希望を見つつ、まずは肯定的に受け入れてみましょう。さて、ヨハネから出たマナセ族とエフライム族でしたが、彼らはカナン人を追い払いませんでした。彼らを苦役に服させることを益と考えたのです。しかしそれが後に偶像礼拝のもととなってしまいました。

打算を働かせても、主の御命令を第一にしなければ、後にやっかいな問題を抱え込むこととなります。心しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

